

資料2 丸太の組み方・火の管理について

1. 丸太の組み方・片づけ方

(1) 丸太・木っ端の準備

丸太（10本）、焚き付け用木っ端（25本程度）を用い、丸太を井桁にセットし、木っ端は中央及び四隅に立てかけてセットします。残った焚き付け用木っ端はキャンプファイア中に火力を調節するために使用します。

※丸太をセットする際、細い木っ端を外側に置いて丸太が外側に転がらないようにします。（図②）



(2) 着火

トーチに灯油を染みこませ着火したのち、火のついたトーチを焚き付け用木っ端の下部に配置します。（図③）

着火前に丸太に灯油を染みこませてから着火します。

※灯油の管理は必ず大人が行い、周りに子どもがいないことを確認したうえで灯油を使用します。なお、着火後に灯油をかけるのは危険ですので行わないでください。



(3) 火の管理・処理

必ず大人が行い、まだ丸太が燃え切っていない場合は周りに子どもがいないことを確認したうえで灯油をかけ、ドラム缶の蓋に収まるサイズまで丸太を燃やしてください。（図④）

※灯油をかける際は火元との間隔をあげ、ひしゃくを使用し細心の注意を払って行ってください。

丸太がドラム缶に収まるサイズになったら蓋で覆い、ドラム缶と地面の隙間を砂（車庫脇に用意）で密閉します。（図⑤）



(4) 片付け（翌朝）

翌朝（6：30～8：00）灰をバケツに入れ、水で消火してから灰捨て用ゴミ袋に入れてゴミステーションに捨ててください。

水は、車庫横コンテナ裏に捨ててください。残った砂はバケツに入れ、元の場所へ返してください。

※営火場のレンガに直接水をかけると破損するため、絶対に行わないでください。



使用した消火用具を車庫の前に戻し、事務室へ終了の連絡をお願いします。